

# しいば 議会だより

第122号

令和8年4月

発行  
編集

宮崎県椎葉村議会  
議会だより編集委員会  
〒883-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字  
下福良1762番地1  
TEL(0982)67-3209  
村内無料電話☎67-0091

第1回臨時議会・3月定例会…(2~5)  
総括質疑 ……(6~7)

一般質問 ……(8~10)  
議員活動報告 ……(11)

議会の動き ……(12)

# 令和8年第1回臨時会

令和8年1月29日に第1回臨時会が開催され、村長提出議案2件を可決しました。

## 第1回臨時会で審議、議決したこと

議案番号	件名	審議審査結果
議案第1号	令和7年度椎葉村一般会計補正予算(第7号)について	可決
議案第2号	工事請負変更契約の締結について(令和6年度(令和4年災)農地農業用施設災害復旧事業本郷地区災害復旧1期工事)	可決

## 第1回臨時会で議決した主な事業と補正予算額

### 議案第1号

令和7年度 一般会計補正予算(第7号)

補正額 9,636万1千円追加 総額84億8,268万5千円

○国の物価高騰による生活者支援給付金 予算額5,395万円。

- 75歳以上の皆さま641人に30,000円、子どもを含む74歳以下の皆さま1,696人に20,000円の現金給付を行います。(担当課:総務課)
- 物価高騰対応子育て応援手当 予算額734万4千円  
18歳以下の子どもに一人当たり20,000円が支給されます。令和8年3月31日までに生まれた18歳以下の子どもたち、約336人が対象となります。(担当課:福祉保健課)
- プレミアム商品券の発行 1,387万7千円  
国と県の補助金を活用した40%のプレミアムが付いた商品券を発行します。1セット500円券14枚(7千円)を5,000円で販売、商工会取扱5,500セット、Aコープ取扱1,000セット。6月から発売開始予定です。(担当課:地域振興課)
- 和牛飼育農家に対する飼料高騰対策事業補助金 予算額1,349万4千円  
和牛飼育農家に対して、母牛1頭あたり12,000円、子牛に対して市場出荷日数に一日50円を乗じた補助金を支給します。



# 令和8年3月定例会

令和8年3月5日～17日まで3月定例会が開催され、一般質問と村長提出議案27件(同意1件、議案26件)、議員提出議案1件を同意、可決しました。

議案番号	件名	審議審査結果
諮問第1号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意で答申
議案第3号	令和7年度椎葉村一般会計補正予算(第8号)について	可決
議案第4号	令和7年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について	可決

議案番号	件名	審議審査結果
議案第5号	令和7年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)について	可決
議案第6号	令和7年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第7号	令和7年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第6号)について	可決
議案第8号	令和7年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第5号)について	可決
議案第9号	令和7年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	可決
議案第10号	令和7年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第5号)について	可決
議案第11号	令和8年度椎葉村一般会計当初予算について	可決
議案第12号	令和8年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算について	可決
議案第13号	令和8年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算について	可決
議案第14号	令和8年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算について	可決
議案第15号	令和8年度椎葉村電気事業特別会計当初予算について	可決
議案第16号	令和8年度椎葉村介護保険特別会計当初予算について	可決
議案第17号	令和8年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算について	可決
議案第18号	令和8年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計当初予算について	可決
議案第19号	椎葉村火災予防条例の全部を改正する条例について	可決
議案第20号	椎葉村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決
議案第21号	椎葉村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決
議案第22号	椎葉村山村定住住宅設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第23号	椎葉村簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第24号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度4年災第1376号 普通河川耳川水系 内の八重川 河川災害復旧工事)	可決
議案第25号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度4年災第1391号 村道川の口上線 道路災害復旧工事)	可決
議案第26号	村道路線の認定について	可決
議案第27号	村有財産(山林)の売り払いについて(村行分収造林 大字不土野字坂本1682番地103他)	可決
議案第28号	令和7年度椎葉村一般会計補正予算(第9号)について	可決
発議第1号	椎葉村議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決

## 議案の主な内容

### ○諮問第1号

椎葉村人権擁護委員に甲斐ミハルさんが任命されました。(4期目)  
同氏は上椎葉出身で、任期は令和8年7月1日から令和11年6月30日までの3年間です。



甲斐ミハルさん

### 議案第3号

○令和7年度 補正予算 一般会計(第8号)  
補正予算1億3,754万3千円追加→総額86億2,022万8千円  
補正の主な内容

- 1, 地籍調査費 測量設計委託料(川の口、下野地区) 1億2,020万5千円(新規)
- 2, 児童福祉費 物価高騰対応子育て応援手当(宮崎県上乘せ支給分) 504万円(新規)
- 3, 簡易給水施設費 工事請負費(水無地区) 1,013万千円追加→総額5,058万8千円
- 4, 観光施設費 工事請負費 食の交流館整備工事 336万7千円追加→総額4,827万1千円

### 議案第19号

○椎葉村火災予防条例  
消防法に基づき、火気設備の基準や火気使用の制限等を定め、火災の予防と安全確保を図る条例。

### 議案第20号

○椎葉村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例  
児童福祉法に基づき、乳児等通園支援事業の設備及び運営基準を定め、適切な保育環境の確保を図る条例。

### 議案第21号

○椎葉村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例  
特定乳児等通園支援事業の運営基準を定め、適正な運営と質の高い支援の確保を図る条例。

### 議案第24号

○令和5年度 4年災 普通河川耳川水系 内の八重川河川災害復旧工事  
変更前 2億4,920万5千円 → 変更後 2億8,209万8千円  
契約相手 株式会社 相生組

### 議案第25号

○令和5年度 4年災 村道川の口上線 道路災害復旧工事  
変更前 1億6,720万円 → 変更後1億2,226万8千円  
契約相手 株式会社 甲斐建設

### 議案第27号

○村有分収林造林 不土野坂本 面積5.34ha 樹種 スギ、ヒノキ  
価格 1,012万円  
契約相手 椎葉林業

### 議案第11号～18号までの一般会計及び特別会計当初予算

- 一般会計予算 66億7,300万円
- 国民健康保険特別会計予算 3億3,718万1千円
- 簡易水道事業特別会計予算8,438万2千円
- 国民健康保険病院事業特別会計予算5億2千万円
- 電気事業特別会計予算3億907万3千円
- 介護保険特別会計予算4億3,759万3千円
- 後期高齢者医療特別会計予算9,475万円
- ケーブルネットワーク事業特別会計予算7,626万円



### ●宮崎県町村議会議長会表彰(副議長として6年以上)

副議長的那須重美さんは、令和元年5月1日から6年以上在職しており、その功績が認められ、この度功労者表彰を受賞されました。

### ●宮崎県町村監査委員協議会表彰(監査委員として6年以上)

議会選出監査委員の河口吉弘さんは、6年以上にわたり監査委員として在職し、その功績が認められ、この度功労者表彰を受賞されました。

# 椎葉村議会

## 議員定数 10名から9名への削減を決定

# 10

令和8年3月17日  
3月定例会において  
1名削減を決定しました

# 9

次回の村議会議員選挙より適用

### 主な提案理由

議案提出者：尾前秀久議員



住民アンケートで59%が  
「削減賛成」

定数削減に賛成 約59%

現状維持・その他 約41%

回答数：531件



著しい人口減少への対応

現在の定数10名が定められた平成19年（2007年）から約20年が経過し、その間の人口減少を考慮



「無投票選挙」への  
強い危機感

前回の選挙が無投票であったことから、定数を削減することで競争性を高め、議会を活性化させる狙い

### 徹底討論で交わされた意見

#### 【賛成意見】

民意の反映と時代への適応

議会・議員改革をしてこなかったことによる村民からの意見・反映が大事である（藏座二九生議員）

近隣自治体の状況や議会運営とのバランスから1人減の案に賛成（椎葉一議員）

人口減少や村民からの意見を鑑み賛成（椎葉智成議員）

道路や通信網の発達により1人の議員で広い範囲の住民の声を把握できるようになった（甲斐美義議員）

#### 【反対意見】

チェック機能と多様性の維持

・行政のチェック機能の維持のため議員は必要  
・安易な削減が議会の力を弱め衰退を招く懸念がある（那須重美議員）

・立候補のハードルが高くなり、多様な民意の反映が難しくなる  
・今求められているのは削減ではなく議員の資質向上ではないか（河口吉弘議員）

#### 採決の結果

賛成多数により原案の通り可決

表決	椎葉智成	藏座二九生	椎葉一	尾前秀久	河口吉弘	椎葉大和	椎葉邦博	甲斐美義	那須重美	岡村正司
	○	○	○	○	●	欠	○	○	●	議長

賛成…○  
反対…●  
欠席…欠

※議長は表決に加わらない

# 令和8年度予算に対する 総括質疑

椎葉 智成 議員

## 質問 若者確保が人口減少対策の鍵では

**問1** 人口減少対策としては若年層の確保が重要である。地元出身者が就職先不足により村外へ流出している現状を踏まえ、どのように対応していくのか。

**答1** (村長) 20代から30代の子育て世代の減少が大きな課題である。Uターン者の動きも見られる中、若い世代の定住促進に向けた施策を進めていく。

## 質問 UIターン促進の具体策は

**問1** UIターンを促進するためには、雇用の場の確保や村の魅力発信が重要である。今後どのようなビジョンで取り組むのか。

**答1** (村長) 住宅支援を含め、椎葉に戻る魅力を高める総合的な施策を検討している。令和8年度中に具体的な施策を示し、Uターン促進を図っていく。

蔵座 二九生 議員

## 質問 子ども・子育て施策のあり方について

**問1** 本村の子育て支援は県内でトップレベルと考える。しかし、支援が手厚い一方で支援の偏りも懸念されるがどう考えるか。

**答1** (村長) これまで充実した支援を行ってきたが、国・県の給付も含め支援が手厚くなっている状況にある。今後は施策全体のバランスも意識しながら検討していく。

**問2** 子育ては家庭の責任も重要であり適度な支援は慎重であるべきではないか。

**答2** (村長) 子育てにおける家庭の役割は重要であり、その点も踏まえつつ支援の在り方についてバランスを考えていく必要がある。

## 質問 高齢者福祉の更なる拡充について

**問1** 子育て支援は拡充していると思う、しかしその一方で85歳以上の一人世帯など高齢者は低年金で厳しい生活を強いられている現状がある。子育て支援とのバランスをどう考えるか。

**答1** (村長) 高齢者施策は対象者が多く財政負担が大きい。その中で75歳以上を対象とした支援などを検討しており、今後もバランスを考慮しながら対応していく。

**問2** 年金受給者が生活保護水準を下回る高齢者もいる。実態を再把握し、支援策を講じるべきではないか。

**答2** (村長) その課題は認識しており改めて実態に焦点を当てて、新たな支援策を考えたい。今後議会とも議論を深めていきたい。

河口 吉弘 議員

## 質問 住宅整備について

**問1** 住宅不足解消のため、令和8年度も桑ノ木原地区に3棟12戸の単身住宅整備計画があるが、当初予算計上がない。予算をどのように考えているのか。

**答1** (村長) 補正予算で対応していく。

しもずる

問2

下水流住宅整備(桑の木原地区)に1億4000万円。空き家のリフォームなど、低コストの住宅整備の取り組みも必要ではないか。住宅建設にあたって国の地域住宅交付金の活用は考えているのか。

答2

(村長)補助事業には制約があり余計に費用がかさむ。自由に設計・建築していくという考えもある。補正予算審議で意見をいただきたい。

質問

### 桑の木原地区の地すべり災害復旧について

問1

令和4年台風14号による村道大河内桑の木原線大規模地すべり災害復旧予算及び村負担について示していただきたい。

答1

(村長)約20億円の災害復旧査定が終了、100%の補助を活用する。

問2

復旧に要する期間はどのくらいか。

答2

(村長)完了まで5年程度を要すると考えている。



質問

### 財源確保のための事務事業見直しについて

問1

財源確保のための事務事業見直しが必要。そのためには庁内で第三者的視点の見直しシステムが必要ではないか。

答1

(村長)客観的に評価できる仕組みを構築していく。

## 那須 重美 議員

質問

### 今後、村の農業をどう守るのか

問1

農林業は本村の基幹産業であるが、令和8年度予算において、歳入、歳出とも減額となっている。物価高騰や担い手不足が進む中、農業機械導入支援やスマート農業の推進など、農業従事者をどのように守っていくのか伺う。

答1

(村長)新年度予算でも一定の予算を措置している。現状に即した施策を引き続き進めていく。

問2

燃料や資材の高騰により、農業経営は厳しさを増している。減額予算の中で十分な支援ができるのか。

答2

(村長)厳しい状況は認識しており、関係施策を講じている。今後も現場の意見を踏まえながら、必要な施策を推進していく。



質問

### 新プロジェクト「道の駅」構想について

問1

将来的な財政負担や既存事業者への影響も懸念される。運営するに当たっての可能性、整備するにあたっての着眼点、具体的な検討など、急ぐことに対しての重要性が疑問視される。拙速に進めるのではなく、慎重に検討すべきではないか。

答1

(村長)高速道路や国道整備を見据え、地域振興策として検討している。道の駅ありきでなく、財政状況や地域の意見を踏まえ、慎重に方向性を見定めていく。みんなが納得する新しいプロジェクト構想に積み上げていく。

質問

### 住宅整備における地域との調整は

問1

住宅不足解消に向けた整備にあたり、土地所有者や地域住民との調整、付帯工事への対応はどのようになっているのか

答1

(村長)事業推進には地域の理解と協力が不可欠であり、合意形成を重視している。今後も安全且つ、円滑な施工に努め、快適な住環境整備を進めて行く。

# 村長に聞く! ~ 一般質問 ~



椎葉一 議員

質問

## 中山間地域における椎葉村のこれからの問題解決策について

### ■耕作放棄地対策

問1

耕作放棄地対策について

高齢化・担い手不足により耕作放棄地が増加傾向にある。中山間直接支払制度未加入者農地も含め、放棄地化を防ぐ為の今後の対応について問う。

答1

耕作放棄地対策は農作業受託組合による作業受託、中山間直接支払制度などで対応している。今後も関係機関と連携し、各種制度を活用して耕作を可能な限り継続していける取組みを進める。

問2

意向把握のための座談会について

耕作放棄地防止のため、加入・未加入者を含めた農家の意向を把握する座談会の開催が必要ではないか。

答2

これまでも地域計画策定時に各地区で説明や案内を行ってきた。今後も現行制度加入者の維持を優先しつつ、未加入者についても意向を聞きながら対応していく。

### ■農作業の省力化(ドローンなど)

問1

ドローン活用による省力化について

農作業の負担軽減のため、ドローンによる農薬・肥料散布を受託事業に加え、スマート農業に取り組む考えはあるのか問う。

答1

ドローンは作業時間短縮や労力軽減に有効であり、受託メニューへの追加を検討する。導入には資格取得や事前手続きが必要であり、受託組合の意向も踏まえ判断する。



問2

農作業受託体制の強化について

受託組合の人員不足により作業が追いつかない状況がある。受託組合組織の体制強化の考え方を問う。

答2

受託需要は増加傾向であり、オペレーター不足が課題である。農家以外の職種の方々にも参加を呼びかけるなど、人員確保に取り組む、受託組合の体制強化をはかる。

問3

ドローン運用費の支援について

ドローン導入については、維持費や保険料など負担が大きい。運用コスト経費の補助は出来ないものか問う。

答3

導入については前向きに検討するが、運用コストへの補助は他事業との関係もあり難しい。受託料収入がコストを上回る運用が必要と考える。

### ■山ビル対策

問1

山ビルの生息分布調査について

山ビルの生息域が拡大しているため、椎葉村で再度の分布調査の必要ではないのか問う。

答1

生息範囲は拡大傾向にあり、現状と過去の分布には差があると認識している。再度の分布調査については今後検討していく。

問2

山ビルによる健康影響について

山ビルによる健康被害やマダニとの関連性への不安がある。対応を問う。

答2

現時点で重大な健康被害は確認されていないが、出血やかゆみの症状はある。正しい知識の周知とともに、服装や忌避剤など個人単位での予防対策を呼びかける。

### ■野良猫・地域猫対策

問1

野良猫の実態把握について

村内の野良猫・飼い猫の数はどの程度把握しているか問う。

答1

猫は登録義務がないため、又人的被害を及ぼす要素が少ない理由から行政としては生息数を把握していない状況である。

**問2** 野良猫・地域猫対策について  
野良猫や捨て猫が増加しているとの声があるが、今後の対応を問う。

**答2** 村内での苦情状況からは大きな増加傾向は見られないが、飼い主の責任ある飼養管理の啓発活動を重視する。必要に応じて不妊去勢手術などの対策について今後検討していく。

**問3** 意識調査の必要性について  
野良猫や地域猫に関する住民意識調査の実施について行政の考えを問う。

**答3** 今後において情報収集に心がけ、野良猫・地域猫に対する意識や考え方のアンケート調査については検討していく。



河口吉弘 議員

## 質問 人口減少対策と若者支援

**問1** 人口減少の要因分析について  
5年間で転出超過が142人となっている。人口減少対策には転出者の特性や理由の分析が不可欠である。プライバシーに配慮しつつも、より詳細な実態把握を行い、施策に活かすべきではないか。

**答1** 転出理由は個人事情もあり完全把握は困難だが、把握可能な範囲では本村出身者・長期在住者が約47%、県職員の異動が約39%を占める。進学や高齢者の転居が主な要因である。今後は課題解決につながる理由の把握に重点を置き、より丁寧な分析に努める。

**問2** 内の力と外の力の人材育成について  
協力隊など外部人材への支援策は充実しているが、村内人材への支援が弱い。農林業や商工業の担い手確保には、内の力への積極的投資が必要ではないか。

**答2** 人口減少により在住者のみでの対応は困難であり、外部人材の活用は不可欠である。一方で内の力の育成も重要であり、両方を組み合わせて持続可能な村づくりを進める必要がある。新たな実施計画の中で支援策を検討する。

**問3** 若者の婚姻・定住支援について  
少子化対策の第一は婚姻数の増加である。若者が結婚し定住できる環境整備を強化すべきではないか。

**答3** 20～30代の社会増減改善を重点とし、特に住居支援が有効と考える。若者の意向を把握し、定住につながる施策を令和8年度中に検討し実施したい。

**問4** 結婚祝金の見直しについて  
昨年6月議会で現行30万円の結婚祝金の見直しに着手するとしていたが、今回の予算に反映されていない理由は何か。

**答4** 婚姻数減少の要因は複合的であり、祝金の増額だけでは効果は限定的と判断した。今後はマッチング支援や定住支援と合わせて総合的に見直す。

## 質問2 介護人材確保対策の住所要件について

**問1** 永年勤続奨励金(10年ごと)が村内・村外の住所要件で差があるのは不合理ではないか。人材確保の観点から見直すべきでは。

**答1** 村民優先の原則と他制度との整合性を踏まえた設計であり、村外在住者も対象とした点は緩和措置である。現時点で見直しは考えていないが、合理性については引き続き検討する。

## 質問3 下椎葉トンネル通行止めの対応について

**問1** 長期通行止めとなっている下椎葉トンネルについて、地域住民への説明と早期対応が必要ではないか。

**答1** 岩盤の不安定により安全確保が困難なため通行止めとしている。令和8年度に専門調査を実施し対応を検討する。地元説明会も実施予定である。





## 質問 民俗文化の保存継承と活用

**問1** 博物館30周年記念事業について  
博物館開館30周年にあたり、リニューアルと合わせた記念事業の計画はあるか。

**答1** (教育長) 令和10年度に「博物館30周年」「柳田國男来村120年」「神楽のユネスコ登録」を合わせた記念事業を予定している。特別展や講演会等を実施する方向で検討中である。

椎葉智成 議員

**問2** 博物館周辺の整備について  
歩道や看板の老朽化が進んでおり、高齢者に危険である。整備が必要ではないか。

**答2** (教育長) 現地の状況は認識しており、手すりやスロープ設置も含め改善が必要と考える。令和8年度に要望し、9年度の予算化を目指す。

**問3** 柳田國男関連事業について  
来村120周年にあたり、特別展や他地域との交流事業を実施すべきではないか。

**答3** (教育長) 令和8年度に具体化する予定である。中瀬淳村長に焦点を当てた特別展も検討している。ゆかりの地との連携も視野に入れる。

**問4** 神楽のユネスコ登録後の取り組み  
登録後の活用や新たな事業の考えはあるか。

**答4** (教育長) 現時点では未定だが、保存会と協議し方向性を決定する。発表機会の充実や後継者育成を重視する。

**問5** 文化継承と後継者育成  
今後の民俗文化継承のための新たな取り組みは。

**答5** (教育長) 体験会や帰省支援、学校教育での「椎葉村学」を通じて継承を進めている。今後も関係者と協議し、情報発信と育成の場を強化する。



## 質問 椎葉村森林・林業ビジョンにおける林業6次産業化の推進

**問1** 協議会設立の進捗について  
6次産業化に向けた協議会設立はどこまで進んでいるのか。

**答1** 現在は検討段階で、正式な協議会は未設立。関係者との協議やニーズ調査を進めており、任意組織から段階的に立ち上げる予定である。

尾前秀久 議員

**問2** 参加事業者の範囲について  
協議会にはどのような事業者が参加するのか。また村外の参入は検討しているか。

**答2** 森林組合、木工、素材生産、建築業者等を想定している。村外人材についても流通や技術面での連携を検討する。

**問3** 製材機能の必要性について  
商品化には製材部門が不可欠ではないか。

**答3** 製材は重要工程であり、小規模で本村のニーズに合った形を検討している。大規模投資ではなく持続可能な形を目指す。

**問4** 6次産業化の方向性について  
村産材を活用した付加価値創出をどう進めるのか。

**答4** 加工品開発や販路開拓を含めた総合的な仕組みが必要である。製材のあり方を整理した上で方向性を早期に判断する。

**問5** 所得向上と副業創出について  
雨天時の副業や所得向上の具体策は何か。

**答5** 木工など屋内作業による収入確保を想定している。加工技術や設備導入も含め、関係者と協議し実現を目指す。



# 議員活動報告

## 日向・人吉間(国道388・446号)合同要望活動 令和7年12月15日

宮崎・熊本両県の整備促進期成同盟会による合同要望活動を実施した。日向土木事務所長、県土整備部長、県議会議長へ要望書を提出し、意見交換を行った。

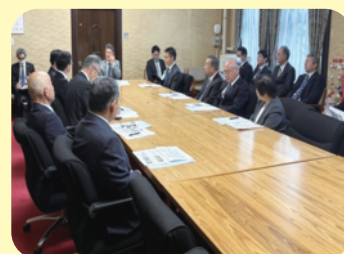


### 【要望事項】

1. 継続実施中の区間について、早期完成に向けて予算の重点配分を図ること。
2. 未改良区間の早期整備を図るため、以下の区間において新たな区間を設定すること。
  - ① 門川町五十鈴～門川町小園
  - ② 門川町松瀬～美郷町北黒木
  - ③ 美郷町南郷鬼神野～椎葉村梶尾

## 日向圏域国道5路線要望活動 2月26日

日向圏域(日向・門川・美郷・諸塚・椎葉)による整備促進期成同盟会で要望活動を行った。県知事、県土整備部長、県議会議長へ台風などによる被災箇所早期復旧・復興に向け、地域経済の復興に万全を期すとともに、「日向圏域はひとつ」という視点に立ち、本地域の固有の資源を活用した総合的な地域づくりを推進するため、次の事項についてお願いした。



### 【要望事項】

1. 台風などによる被災箇所早期復旧・復興を図ること。
2. 国道265号、327号、388号、446号、503号における早期整備を促進し、圏域内の道路ネットワーク機能の強化を図ること。
3. 国道327号「永田地区～道の駅とうごう」間の早期計画立案及び事業着手を図ること。
4. 圏域国道の沿道修景美化を推進し、良好な景観の創出を図ること。
5. 上記の道路促進を整備するとともに、圏域内の地方創生及び国土強靱化を推進するための予算確保を行なうこと。

## 県道上椎葉湯前改良促進期成同盟会(要望活動) 1月30日

上椎葉湯前線の改良に関する要望活動を行い、沿線3地区の代表や村長、議長、県議(安田厚生)議員、関係議員、建設課とともに県土整備部を訪問し、要望書を提出した。

県からは、これまで同様に着実に事業を進めるとともに、今後はさらに推進していくとの見解が示されました。また、懸案である六弥太入口の改良については、用地確保に着手しているとの説明があった。

引き続き、事業の着実な進展と全線の早期完成を強く要望した。

## 村道椎葉・五家荘線期成会要望活動(県道昇格) 2月17日

本路線は椎葉村尾向地区と熊本県八代市泉町樫木地区を結ぶ総延長約30kmの両市・村を連絡する観光ルート(秘境ルート)のひとつでもある。また広域的には八代市中心部と日向市中心部を繋ぐ一部路線でもあると共に県境を越えて椎葉村と八代市泉町を繋ぐ地域間交流に大きく寄与する路線である。本年度は熊本県に村長をはじめ議長以下8名、八代市より副市長以下6名で県道昇格を要望した。

# 議会の動き

1 月	4日	20歳を祝う会	開発センター
	6日	消防出初式	椎葉小グラウンド
	9日	賀詞交換会	開発センター
	12日	市町村対抗駅伝大会	宮崎市
	26日	日向東白杵広域連合議会運営委員会	日向市
	27日	定期監査～28日	監査室
		第1回議会運営委員会	委員会室
	29日	第1回全員協議会	委員会室
		第1回臨時会	議場
		県道上椎葉湯前線要望活動	県庁
2 月	30日	十根川第2トンネル工事安全祈願祭	鹿野遊
	31日	椎葉小学校150周年記念式典	椎葉小学校
	8日	大河内小学校150周年記念式典	大河内小学校
	10日	県北地域への行幸啓及びお成りの要望活動	県庁
	12日	県町村監査委員協議会総会	宮崎市
	15日	生涯学習フェスティバル	開発センター
	16日	日向東白杵広域連合議会	日向市
	17日	北部広域行政事務組合議会	延岡市
	18日	県町村議会議長会定期総会	宮崎市
	20日	第1回産業福祉常任委員会(村道認定調査)	尾向・大河内
3 月	25日	例月監査～26日	監査室
		郡町村議会議長会定期総会	門川町
	26日	日向圏域国道5路線整備促進に係る要望活動	県庁
		第2回議会運営委員会	委員会室
	27日	第2回全員協議会	委員会室
		2議会広報広聴特別委員会	委員会室

3 月	3日	入郷地区衛生組合議会	美郷町
	5日	3月定例会～17日	議場
	16日	椎葉中学校卒業式	椎葉中学校

## ◎委員会報告(3月定例会)

《産業福祉常任委員会合同所管事務調査》

### 村道認定調査 2月20日

産業福祉委員会で村道認定予定箇所の現地調査を実施した。

路線は、

- ①水無谷川線 (尾向 水無地区)  
L= 309.2m
- ②水無尾前線 (尾向 水無地区)  
L= 62.0m
- ③尾後の崎背戸屋線(尾向 向山日当下地区)  
L= 551.0m
- ④大藪水道水路線 (大河内 大藪地区)  
L= 680.0m

以上、4路線の現地調査を行い、建設課より説明を受けた。

調査した結果、委員会としては村道認定は適当であるとの意見で一致し、議会において可決しました。

## 編集後記

咲き誇った桜も新緑に変わり、すごしやすい季節となりました。

さて、3月定例議会におきまして、令和8年度の予算が慎重な審議の結果、可決、承認されました。

中でも、議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例も定数10名から9名へと可決されました。

村の将来に向けた様々な事業が展開されようとしている中、大きく変革する時期でもあり議会としてもチェック機能としての役割を確保しながら、議会活動を進めてまいりたいと思います。

今後、村民の皆様との交流の機会を増やすことで「開かれた議会」となるよう、今まで以上に取り組みを強化してまいります。

村民に寄りそった村政をすすめる為にも、議会だよりを通して、議会情報を伝えて参りますので目を通して頂ければ幸いです。

課題が山積する中において、村民の皆さんのご意見、要望を数多くお寄せ頂きますよう、お願いいたします。  
那須 重美

## 椎葉村議会 テレビ生中継

6月定例会は6月9日開会予定となっております。

お問い合わせは議会事務局まで  
(TEL 0982-67-3209)

是非傍聴にお越しください。

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。